

# 令和6年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年2月9日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア  
 コード番号 3851 URL <https://www.nippon1.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 世古哲久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猿橋健蔵  
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	4,404	31.5	458	15.4	715	6.4	470	3.1
5年3月期第3四半期	3,349	25.9	542	63.6	672	56.2	485	53.0

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 744百万円 (10.5%) 5年3月期第3四半期 673百万円 (40.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	93.37	93.22
5年3月期第3四半期	96.48	96.20

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	10,183	7,662	74.0
5年3月期	9,379	6,948	72.7

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 7,535百万円 5年3月期 6,816百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期				5.00	5.00
6年3月期					
6年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和6年3月期の連結業績予想につきましては、令和5年3月期決算短信(令和5年5月12日付公表)において発表いたしましたとおり未定といたしました。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期3Q	5,131,400 株	5年3月期	5,131,400 株
期末自己株式数	6年3月期3Q	90,856 株	5年3月期	90,856 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期3Q	5,040,544 株	5年3月期3Q	5,036,284 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や政策効果により、緩やかに回復しており、個人消費の増加が期待されます。しかし、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念、物価上昇、中東地域をめぐる情勢等引き続き先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが所属するゲーム業界では、巣ごもり需要が一巡したことでゲームソフトの売上低下が不安視されていましたが、デジタル化の進展により販売地域が広がったことや旧作販売の伸長などの影響で、ゲームソフト販売を含むセグメントの売上は底堅く推移しております。その他にも、クラウドゲームサービスの登場によるプラットフォームの多様化、成長市場として近年注目されているeスポーツの発展、VRデバイスの進化など、市場環境には更なる変化が見られます。

当社グループは、このような経営環境の中、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、その結果として当社グループと当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指して成長してまいります。当社グループは持続的な発展を目指し、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組んでまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、国内では全7タイトルのゲームソフトを発売いたしました。また、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,404,110千円（前年同期比31.5%増）、営業利益458,803千円（前年同期比15.4%減）、経常利益715,809千円（前年同期比6.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益470,646千円（前年同期比3.1%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (エンターテインメント事業)

パッケージタイトルとしましては、国内では『シカトリス』、『流行り神1・2・3パック』、『英雄伝説 零の軌跡：改』、『英雄伝説 碧の軌跡：改』、『役づくりパズル ゆめいろユラム』の合計5タイトルを発売いたしました。また、第4四半期に発売を予定しております『BAR ステラアビス』等の開発を進めてまいりました。

その他につきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高4,341,749千円（同31.7%増）、営業利益827,308千円（同6.5%減）となりました。

#### (学生寮・その他事業)

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮3件の運営を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高62,361千円（同18.4%増）、営業損失26,681千円（前年同期営業損失21,498千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は10,183,845千円となり、前連結会計年度末に比べ804,217千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末に比べ724,883千円の増加）、仕掛品の減少（同92,304千円の減少）、その他の減少（同124,832千円の減少）によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の増加（同175,299千円の増加）、土地の増加（同128,501千円の増加）、投資有価証券の減少（同34,995千円の減少）によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,521,288千円となり、前連結会計年度末に比べ90,232千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少（同122,954千円の減少）、短期借入金の減少（同206,210千円の減少）、未払法人税等の増加（同43,242千円の増加）、契約負債の増加（同134,071千円の増加）、返金負債の増加（同30,430千円の増加）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加（同228,601千円の増加）によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,662,556千円となり、前連結会計年度末に比べ713,984千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（同445,444千円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（同28,120千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（同245,253千円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の連結業績予想につきましては、令和5年3月期決算短信（令和5年5月12日付公表）「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」に記載した新体制構築のための資金・資源の投入等、いまだ不確定な要素を含んでおり、未定としております。

なお、令和6年3月期の業績見通しが算出できる状況になりましたら、適時に開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,353,611	5,078,494
売掛金	279,780	312,439
商品及び製品	183,763	225,765
仕掛品	509,796	417,492
前払費用	929,123	870,041
その他	277,401	152,568
貸倒引当金	△17,905	△19,288
流動資産合計	6,515,571	7,037,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	826,635	1,001,935
機械装置及び運搬具(純額)	9,591	20,170
土地	678,340	806,841
建設仮勘定	67,740	35,280
その他(純額)	74,387	67,724
有形固定資産合計	1,656,694	1,931,951
無形固定資産	25,290	49,132
投資その他の資産		
投資有価証券	1,127,670	1,092,675
その他	54,400	72,571
投資その他の資産合計	1,182,071	1,165,247
固定資産合計	2,864,056	3,146,331
資産合計	9,379,628	10,183,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	258,850	135,895
短期借入金	372,210	166,000
1年内返済予定の長期借入金	29,780	42,181
未払金	131,813	116,859
未払法人税等	14,456	57,699
賞与引当金	116,869	88,699
契約負債	39,239	173,310
返金負債	406,130	436,561
その他	160,795	165,017
流動負債合計	1,530,145	1,382,224
固定負債		
長期借入金	658,586	887,188
退職給付に係る負債	62,646	65,415
繰延税金負債	140,762	152,728
その他	38,914	33,731
固定負債合計	900,909	1,139,063
負債合計	2,431,055	2,521,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,444	557,444
資本剰余金	547,444	547,444
利益剰余金	5,176,467	5,621,911
自己株式	△56,349	△56,349
株主資本合計	6,225,006	6,670,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,605	△61,485
為替換算調整勘定	681,084	926,337
その他の包括利益累計額合計	591,479	864,852
新株予約権	132,086	127,253
純資産合計	6,948,572	7,662,556
負債純資産合計	9,379,628	10,183,845

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年 4月 1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年 4月 1日 至 令和5年12月31日)
売上高	3,349,467	4,404,110
売上原価	1,379,523	2,314,653
売上総利益	1,969,943	2,089,457
販売費及び一般管理費	1,427,811	1,630,653
営業利益	542,132	458,803
営業外収益		
受取利息	55,014	99,305
受取配当金	246	255
為替差益	81,163	160,647
その他	3,983	6,067
営業外収益合計	140,407	266,276
営業外費用		
支払利息	4,754	6,010
投資事業組合運用損	32	2,930
支払手数料	4,545	151
その他	770	178
営業外費用合計	10,102	9,270
経常利益	672,437	715,809
特別利益		
新株予約権戻入益	18,365	4,833
特別利益合計	18,365	4,833
税金等調整前四半期純利益	690,803	720,642
法人税等	204,918	249,995
四半期純利益	485,884	470,646
親会社株主に帰属する四半期純利益	485,884	470,646

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年 4月 1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年 4月 1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	485,884	470,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,647	28,120
為替換算調整勘定	251,899	245,253
その他の包括利益合計	187,251	273,373
四半期包括利益	673,136	744,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	673,136	744,020
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自令和4年4月1日 至令和4年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,296,786	52,680	3,349,467	—	3,349,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,296,786	52,680	3,349,467	—	3,349,467
セグメント利益又は損失 (△)	884,483	△21,498	862,984	△320,851	542,132

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△320,851千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自令和5年4月1日 至令和5年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,341,749	62,361	4,404,110	—	4,404,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,341,749	62,361	4,404,110	—	4,404,110
セグメント利益又は損失 (△)	827,308	△26,681	800,626	△341,822	458,803

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△341,822千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。